

【0歳からの指先発達】指育フェルトシリーズ 動物お手玉



(意匠登録済)

ご購入いただき本当にありがとうございます。

子どもが将来、自分の可能性を誰よりも信じ、欲しい未来を手に入れる力、諦めない力を身に付けることを目指してこの教材を考案しました。

夢を叶える器用なカラダと諦めない強いココロ

この両輪を兼ね備えていって欲しい

「やりたい」を叶える身体作り

「できた」の積み重ねは大きなやる気

幼少期からの家庭の自律から社会の自立へ！！

一つで何通りにでも展開できる。そして子どもたちに愛してもらえるものになってほしい。教材たちをどうぞ可愛がってあげてください。

教材について詳しく解説していきますので、ゆっくりしっかりご覧いただきご活用していただけたら嬉しいです。

ご不安なこと・ご不明なことなどはいつでもご連絡くださいね。 info@angelicmile-baby.com

中島優子

= この教材から得られる結果 =

オリジナルソング「ペタペタぺったん」

1) 上下の認識

基礎概念で一番初めに教室で取り掛かる「上下」

子どもたちが実は…一番、必要だったりするのが上下の概念
知っていましたか???

◆抱っこをしても泣き止まない。

「えーーーー立って抱っこしてよー。」

実例)泣き止まない8か月のお子さんが、指で「上」を差すことでお母さんが立ってみる。
すると…なんと泣き止みました。「そうだったのね～」とホッと安心したことがありました。
(8か月の男の子のママ)

◆わけもなく泣くのが止まらない

「下におもちゃが落ちたのよー。」

実例)電車に乗って、抱っこ紐に入っていたお子様が突然泣き出す。

「どうしたの?」と聞くと、泣きながら「下」を指さす。目をやると手に持っていたおもちゃを落としてしまっていた。手渡すと泣き止んだのでおもちゃを拾ってほしかったんだな～と気持ちが分かり嬉しくなりました。(1歳2か月男の子のママ)

◆ベビーカーにのせてパパとママの買い物に同行中

1歳の子どもが突然「下」を何度も教えてくれた。パパは不思議に思い、下に目をやると…
ガーゼハンカチが落ちてしまっていたことに気が付きました。

こんなに小さな子が伝えられることを半信半疑だったパパが驚いて、ママに報告
(1歳の女の子のパパのお話)

◆歩き始めて1歳ごろ、お兄ちゃんとママと3人で本当に小さな丘?に登り、降りる遊びをしていた。
すると…1歳の息子は降りてこない。なんでかな～とみると、「下」をゼスチャーしながら、降りれない
ことを意思表示。まさか…こんな小さな坂が下れなかったなんて、お母さんは分かりもしなかった。

(1歳2か月 男の子 中島体験談)

上



下





上下の概念を知ることは子どもにとって難しいので…
自分の頭にのせることでなんと…8 か月ごろから身に付けることが可能になりました。

上は頭にのせる
下の合図で頭から落とす

こんな単純な遊びが子どもたちに大人気！！
もう説明もいらなくらいなので…

こちらの動画で確認ください。

1歳過ぎのお子さま向けバージョンは[こちら](#)

7か月のお子様向けバージョンは[こちら](#)

言葉の獲得 魔法の3ステップ

①～③までの3ステップを0歳から丁寧に行うことで2歳になった時の語彙力は劇的に増加傾向が見られます。

①上「↑」 うえ・うえにのせるよ(予告)

②うえにあるよ。うえだね。(現在形)

③うえにあったね。(過去形)

どんな時も①予告 ②現在形 ③過去形 としてことばを3ステップで伝えることで言語はグングン増えていきます。

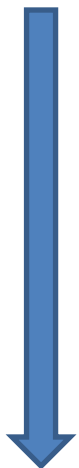
発語は身体作りも大きく関係してきますので、気になる方はこちらを参考にしてください。

[0歳からのオンラインプログラム](#)

大切な我が子のココロを守り、思いやりを育てる「origami ココロワーク」を参考に！！

[「origami ココロワーク」のPDFはこちらから](#)

2) 把握・握る力が育ち指先能力へ繋げる



- ①新生児の原始反射としてギュッと握る
- ②意識して握ることができるようになる
- ③握った手を口に持っていくことができるようになる
- ④自分で掴もうとする
- ⑤手に持ったおもちゃで叩く動作をする
- ⑥離す
- ⑦掴む
- ⑧指差しを始める
- ⑨どうぞができる
- ⑩摘まむ

ここまでを1歳～1歳半に完成します。

発達には順序があります。

思い通りに物を離すこと。

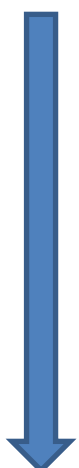
ここに大きな意味があります。

意志を持って手を動かすこと

器用な指先を育てるにはとっても大切な活動ですので、しっかり育ててくださいね。

今、お子さんはどの状態ですか？

1歳過ぎですべて終了していますか？



済んでいる方はこの課題に意志・目的を持たせてくださいね。

- ①新生児の原始反射としてギュッと握る
- ②意識して握ることができるようになる→動いているものを握ることができる。
- ③握った手を口に持っていくことができるようになる→バケツなど目標物に入れる
- ④自分で掴もうとする→ボールをキャッチできる
- ⑤手に持ったおもちゃで叩く動作をする→鍵盤などを弾く動作をする
- ⑥離す→言葉や合図に合わせてタイミングよく離す。
- ⑦掴む⑧指差しを始める
- ⑨どうぞができる→自分のタイミングでどうぞができる
- ⑩摘まむ→5ミリほども米粒も摘まめる

この過程が 2 歳で箸が持てる。鉛筆が持てる秘訣です。

幼児教育って意外と簡単なんです。

お母さんが知識を得さえすれば自分でステップアップをしていくことができます。

この繰り返しで成長を繰り返し、子どもの可能性をドンドン引き出していく。
そんな基礎作りになります。

①まずは握る

②離す

③投げる

④動物の違いや言葉の違いを理解し、指示された動物を選んで握る

3) 視覚・聴覚・触覚と脳を繋げる

脳からの指令を早くすること。ここが器用な脳と指先作りのポイントです。

例えばボール遊び



サッカーをする

◆サッカーボールが飛んできたという映像を目から脳へ伝達
⇒視覚野

◆お…遅いぞ！！などボールのスピードなどを認識
⇒頭頂連合野

◆「よしキックするぞ」というように情報を統合し状況に適した行動をする
⇒前頭連合野

◆適切な動きを作り、運動野に実行を指令する

⇒運動連合野

◆指令通りに筋肉を動かす命令を脊髄に出す

⇒運動野

◆実際に動かす

⇒筋肉

これだけ見ても、身体を動かすことは脳の発達にとってサイコー！！

実際に取り組む中で、イメージする力もとても大切になるし

感覚的な身体の動きは言葉では伝えられない。

そういった意味では、子どもたちが必死に考え、失敗を繰り返し

習得していくというこんな基礎作りに動物お手玉は役立ってくれます。

こんなお歌を使って、こどもの反射神経や認識能力を上げていってくださいね。

認識力をあげるオリジナル曲 **動物体操**



4) 握る感覚、五感を育てるゲーム

実はすべてのお手玉の中身が違います。
ということは握る感覚も違うはずですよ。

お母さん…わかるかな？

小さなうちからどんな感覚が好きなのか苦手なのか…
触覚にも注意が向きようになるといいですね。

2歳間近になったら…

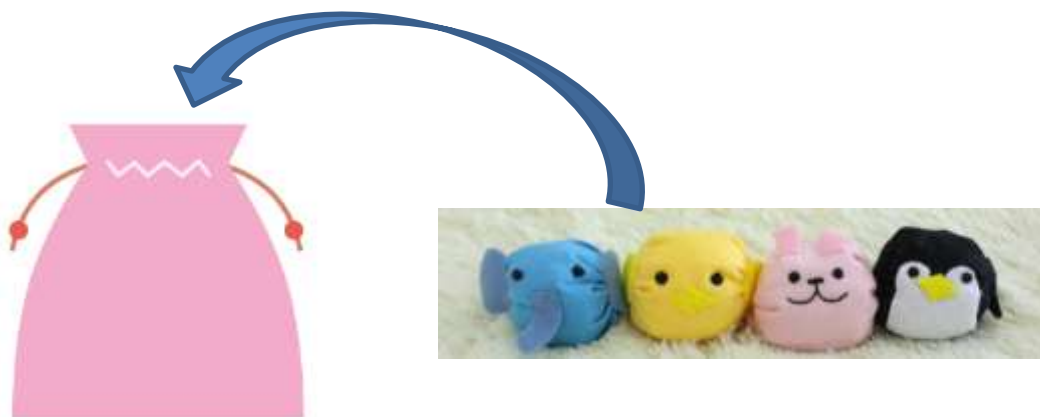
ウサギの感覚

ゾウの感覚

ヒヨコの感覚

ペンギンの感覚

をインプットして、巾着に入れて中身を見ずに取り出すゲームをしてくださいね。



5) 重さ認識ゲーム

先程、中身が違う…とお話しましたよね。
ということは…重さが違うのです。

中身は何だったかわかりましたか？

さて…どれが一番初めに落ちるのでしょうか？？

落下スピードが違う事。

なんでかな～と不思議に感じる事。



落ちた後を観察！！

どれがどうなんて解説はナンセンス



子どもたちが感じて気が付くこと。

ここが大事！！

子どもが分かったー。できたー。そうなんだーなんて気づきがあること。

これが子どもたちのやる気と自信を育てるポイントです。

*注意

ただ…ひたすら待っても興味を示さない時はやり方を変えてくださいね。

投げてもいい。

両手で握ってみるのもいい。

二つを打ち付けてみるのもいい。

色々な方法を試しながら、子どもに合った方法を見つけることがお母さんの特権です。

悩んでしまうくらいできない時は、落ち込む前に御連絡くださいね。

子育て…わからないことはよくあります。

だって、誰にも教えてもらっていないから。

是非、チャレンジしてください。

少し成長したら重力についても話をしてみてもいいかもしれませんね。ドンドン発展していきましょう。

この落ちる物を見るという視線

これはなんと視力アップに繋がります。

乳幼児期の視力を育てる子とは…

やる気アップにつながるポイント

手元を見る視線から…遠くを見る視線

動きのある物を見る視線 そんな過程を踏みながら、脳育てを行ってほしい。

興味関心・好奇心、そういったものから視力が大きく影響するスポーツに取り組む姿勢まで

子どものやる気を育てていくことが可能！！

そんなお得なゲームを是非楽しんでほしいと思っています。

…ね。知っているのと本当に得でしょ。

これら…すべて運筆に繋がる視力作りにも役立ちます！！

子どもが無理なく、楽しみながら伸びることってできないだろうか…

研究した結果、出来上がった教材たち。

今日から家族の一員にして向かい入れていただきありがとうございます。

未永く使っていただくと本当に嬉しいです。

もっと詳しく子どもを伸ばす活用法をお知りになりたい方はご連絡くださいね。

あなたとあなたのお子様が更に幸せな親子の時間を過ごすきっかけになりますように…

出逢っていただき本当にありがとうございます。

私はいつも気にかけています。

お困りごとがあるとき、嬉しいことがあるときなどまたご一報をいただければと思います。

中島優子